

# 米国国債ファンド

為替ヘッジあり(年1回決算型)  
為替ヘッジなし(年1回決算型)  
フレックスヘッジ(年1回決算型)

## 運用報告書(全体版) 第7期

(決算日 2020年3月26日)

(作成対象期間 2019年3月27日～2020年3月26日)

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券		
信託期間	約14年9カ月間(2013年6月27日～2028年3月24日)		
運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行いません。		
主要投資対象	ベビーファンド	米国国債マザーファンドの受益証券	
	米国国債マザーファンド	米国国債	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行わないことがあります。		

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、残存期間の異なる米国国債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号  
お問い合わせ先(コールセンター)  
TEL 0120-106212  
(営業日の9:00～17:00)  
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<3170>  
<3171>  
<3172>

## 為替ヘッジあり (年1回決算型)

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE米国債インデックス (米ドルベース)		公社債 組比率	債券先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中騰 落率	(参考指数)	期中騰 落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
3期末(2016年3月28日)	10,510	0	0.7	10,808	1.7	93.0	—	379
4期末(2017年3月27日)	10,147	0	△ 3.5	10,719	△ 0.8	94.3	—	3,307
5期末(2018年3月26日)	9,886	0	△ 2.6	10,714	△ 0.0	97.0	—	4,688
6期末(2019年3月26日)	10,051	0	1.7	11,206	4.6	96.4	—	4,133
7期末(2020年3月26日)	11,011	0	9.6	12,570	12.2	101.2	—	4,547

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) FTSE米国債インデックス(米ドルベース)は、FTSE米国債インデックス(米ドルベース)の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE米国債インデックス(米ドルベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

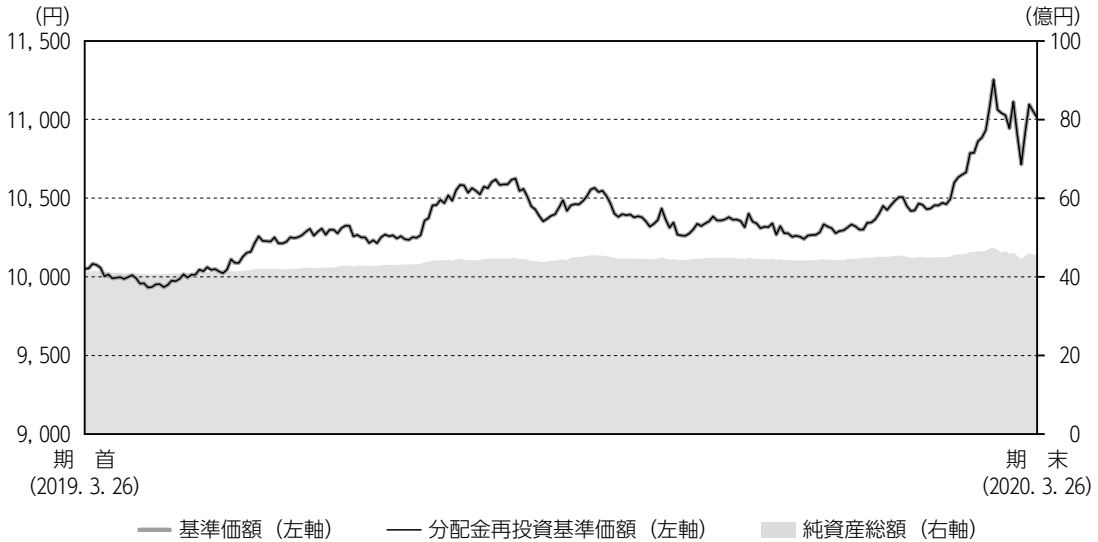
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額・騰落率

期首：10,051円

期末：11,011円（分配金0円）

騰落率：9.6%（分配金込み）

### 基準価額の主な変動要因

米国国債に投資した結果、債券の利息収入や金利が低下（債券価格は上昇）したことを主な要因として基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

米国国債ファンド 為替ヘッジあり (年1回決算型)

年 月 日	基 準 価 額		F T S E 米 国 債 イ ン デ ッ ク ス (米ドルベース)		公 社 組 入 比 率	債 券 先 物 率 比
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率		
(期首) 2019年3月26日	10,051	—	11,206	—	96.4	—
3月末	10,076	0.2	11,233	0.2	96.9	—
4月末	9,972	△ 0.8	11,165	△ 0.4	97.3	—
5月末	10,159	1.1	11,389	1.6	96.2	—
6月末	10,300	2.5	11,551	3.1	95.5	—
7月末	10,248	2.0	11,523	2.8	96.7	—
8月末	10,585	5.3	11,923	6.4	96.8	—
9月末	10,462	4.1	11,828	5.5	97.8	—
10月末	10,360	3.1	11,759	4.9	100.0	—
11月末	10,364	3.1	11,806	5.4	99.7	—
12月末	10,284	2.3	11,761	5.0	96.2	—
2020年1月末	10,484	4.3	12,000	7.1	96.4	—
2月末	10,665	6.1	12,216	9.0	96.3	—
(期末) 2020年3月26日	11,011	9.6	12,570	12.2	101.2	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

(2019. 3. 27 ~ 2020. 3. 26)

### ■米国債券市況

米国金利は低下しました。

当作成期前半の米国債券金利は、米中貿易交渉の不透明感の高まりによる世界的な景気減速懸念などからF R B (米国連邦準備制度理事会) が複数回利下げを実施したことで、低下基調となりました。その後は、政策金利を当面据え置く方針を示したことで横ばいでの推移となりましたが、2020年に入り、新型コロナウイルスによる世界経済の減速懸念が高まると市場の利下げ観測が強まり、米国金利は大幅に低下しました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「米国国債マザーファンド」を高位に組み入れます。保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### ■米国国債マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。

## ポートフォリオについて

(2019. 3. 27 ~ 2020. 3. 26)

### 当ファンド

「米国国債マザーファンド」を高位に組み入れました。保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

### 米国国債マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行いました。

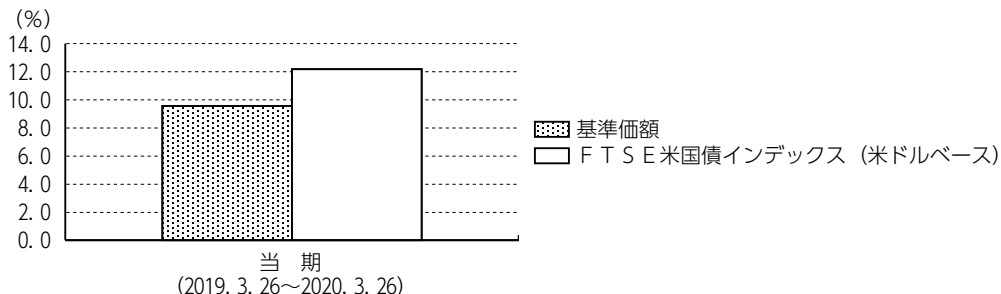
米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れました。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当期	
	2019年3月27日 ～2020年3月26日	
<b>当期分配金（税込み）</b>	<b>(円)</b>	<b>—</b>
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	1,020

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

### 当ファンド

「米回国債マザーファンド」を高位に組み入れます。保有実質外貨建資産については、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

### 米回国債マザーファンド

米回国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米回国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 3. 27~2020. 3. 26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	84円	0.806%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は10,360円です。
(投 信 会 社)	(40)	(0.381)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(40)	(0.381)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(5)	(0.044)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	2	0.019	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	86	0.826	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

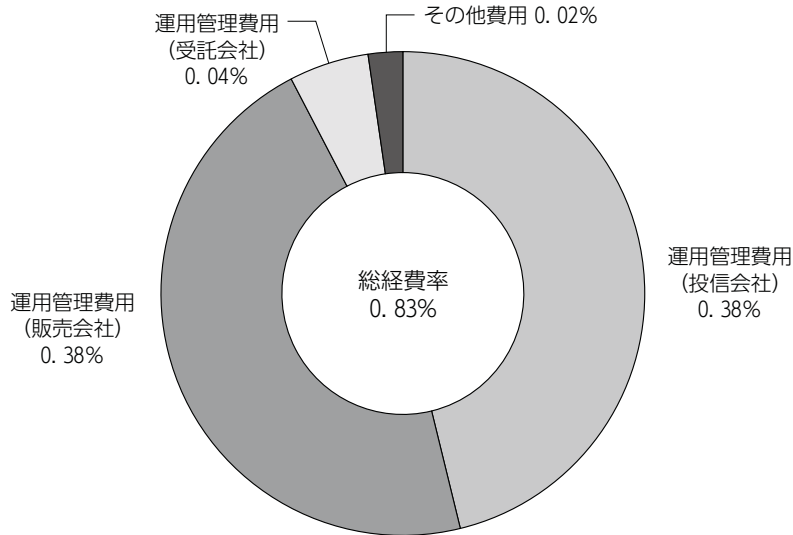
(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。



## 参考情報

### ■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.83%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## 米国国債ファンド 為替ヘッジあり (年1回決算型)

### ■売買および取引の状況

#### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年3月27日から2020年3月26日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
米国国債 マザーファンド	337,889	448,100	301,683	409,200

(注) 単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

### ■組入資産明細表

#### 親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	評 価 額	□ 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
米国国債マザーファンド	3,152,902	3,189,109	4,687,352	

(注) 単位未満は切捨て。

### ■投資信託財産の構成

2020年3月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
米国国債マザーファンド	4,687,352	97.7
コール・ローン等、その他	112,551	2.3
投資信託財産総額	4,799,904	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=110.77円です。

(注3) 米国国債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(15,007,395千円)の投資信託財産総額(15,267,100千円)に対する比率は、98.3%です。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年3月26日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	9,222,586,930円
コール・ローン等	90,823,808
米国国債マザーファンド(評価額)	4,687,352,778
未収入金	4,444,410,344
(B) 負債	4,675,262,276
未払金	4,634,192,886
未払解約金	22,703,495
未払信託報酬	18,181,637
その他未払費用	184,258
(C) 純資産総額(A-B)	4,547,324,654
元本	4,129,872,993
次期繰越損益金	417,451,661
(D) 受益権総口数	4,129,872,993口
1万口当り基準価額(C/D)	11,011円

\*期首における元本額は4,112,898,945円、当作成期間中における追加設定元本額は521,489,151円、同解約元本額は504,515,103円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は11,011円です。

### ■損益の状況

当期 自2019年3月27日 至2020年3月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 31,714円
受取利息	2,817
支払利息	△ 34,531
(B) 有価証券売買損益	412,204,235
売買益	805,193,482
売買損	△ 392,989,247
(C) 信託報酬等	△ 35,637,699
(D) 当期損益金(A+B+C)	376,534,822
(E) 前期繰越損益金	△ 40,182,637
(F) 追加信託差損益金	81,099,476
(配当等相当額)	( 84,971,576)
(売買損益相当額)	(△ 3,872,100)
(G) 合計(D+E+F)	417,451,661
次期繰越損益金(G)	417,451,661
追加信託差損益金	81,099,476
(配当等相当額)	( 84,971,576)
(売買損益相当額)	(△ 3,872,100)
分配準備積立金	336,383,899
繰越損益金	△ 31,714

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	336,252,178
(c) 収益調整金	84,971,576
(d) 分配準備積立金	131,721
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	421,355,475
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	421,355,475
(h) 受益権総口数	4,129,872,993口

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

## 為替ヘッジなし (年1回決算型)

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE米国債インデックス (円換算)		公社債 組入率	債券先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
3期末(2016年3月28日)	12,438	0	△ 3.6	12,556	△ 3.3	92.8	—	878
4期末(2017年3月27日)	11,927	0	△ 4.1	12,124	△ 3.4	97.9	—	1,785
5期末(2018年3月26日)	11,223	0	△ 5.9	11,522	△ 5.0	98.6	—	2,078
6期末(2019年3月26日)	12,306	0	9.6	12,648	9.8	97.2	—	2,299
7期末(2020年3月26日)	13,930	0	13.2	14,261	12.7	96.8	—	2,267

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) FTSE米国債インデックス(円換算)は、FTSE米国債インデックス(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE米国債インデックス(米ドルベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

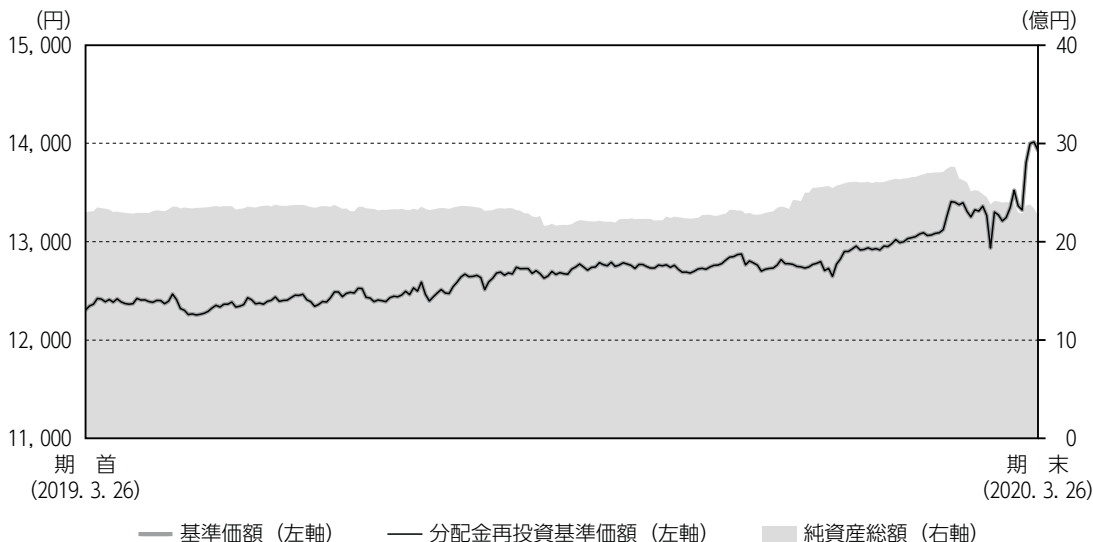
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

期首：12,306円

期末：13,930円（分配金0円）

騰落率：13.2%（分配金込み）

#### 基準価額の主な変動要因

米回国債に投資した結果、債券の利息収入や金利が低下（債券価格は上昇）したことを主な要因として基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

米国国債ファンド 為替ヘッジなし (年1回決算型)

年 月 日	基 準 価 額		F T S E 米 国 債 イ ン デ ッ ク ス (円換算)		公 社 組 比	債 入 率	債 券 先 物 率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首) 2019年3月26日	円 12,306	% —	12,648	% —	% 97.2	% —	% —
3月末	12,424	1.0	12,769	1.0	97.0	—	—
4月末	12,413	0.9	12,790	1.1	96.7	—	—
5月末	12,410	0.8	12,756	0.9	97.4	—	—
6月末	12,430	1.0	12,751	0.8	96.7	—	—
7月末	12,498	1.6	12,822	1.4	96.8	—	—
8月末	12,691	3.1	13,000	2.8	98.2	—	—
9月末	12,743	3.6	13,073	3.4	97.6	—	—
10月末	12,762	3.7	13,113	3.7	98.9	—	—
11月末	12,870	4.6	13,247	4.7	98.2	—	—
12月末	12,799	4.0	13,197	4.3	97.3	—	—
2020年1月末	13,022	5.8	13,404	6.0	97.3	—	—
2月末	13,310	8.2	13,691	8.2	96.4	—	—
(期末) 2020年3月26日	13,930	13.2	14,261	12.7	96.8	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2019. 3. 27 ~ 2020. 3. 26）

### ■米国債券市況

米国金利は低下しました。

当作成期前半の米国債券金利は、米中貿易交渉の不透明感の高まりによる世界的な景気減速懸念などからF R B（米国連邦準備制度理事会）が複数回利下げを実施したことで、低下基調となりました。その後は、政策金利を当面据え置く方針を示したことで横ばいでの推移となりましたが、2020年に入り、新型コロナウイルスによる世界経済の減速懸念が高まると市場の利下げ観測が強まり、米国金利は大幅に低下しました。

### ■為替相場

米ドルは対円で当作成期首と同程度の水準となりました。

当作成期前半の米ドル円為替相場は、米中貿易交渉の不透明感などを受けて市場のリスク回避姿勢が高まったことなどから、円高米ドル安が進行しました。その後は方向感に乏しい推移となったものの、2020年に入り、新型コロナウイルスによる景気減速が懸念される中で市場のリスク回避姿勢が高まり、急速に円高が進行しました。その後は、米ドルに対する強い需要の影響から米ドル高に転じました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「米国国債マザーファンド」を高位に組み入れます。

### ■米国国債マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。

## ポートフォリオについて

(2019. 3. 27 ~ 2020. 3. 26)

### 当ファンド

「米国国債マザーファンド」を高位に組み入れました。

### 米国国債マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行いました。

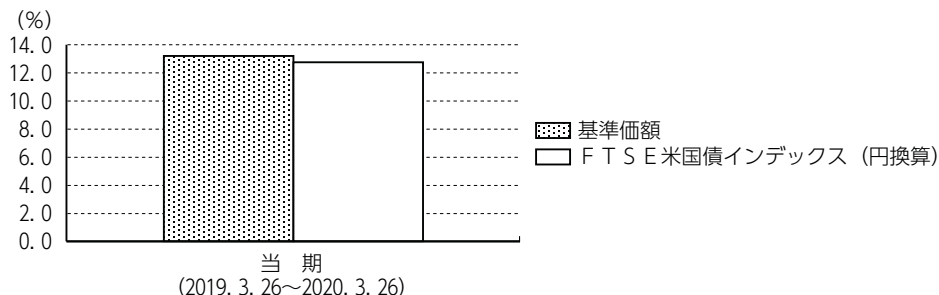
米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れました。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。





## 分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当 期	
	2019年3月27日 ～2020年3月26日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	3,929

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

### 当ファンド

「米国国債マザーファンド」を高位に組み入れます。

### 米国国債マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 3. 27~2020. 3. 26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	102円	0.806%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12,702円です。
(投 信 会 社)	(48)	(0.381)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(48)	(0.381)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(6)	(0.044)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	2	0.019	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	105	0.825	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

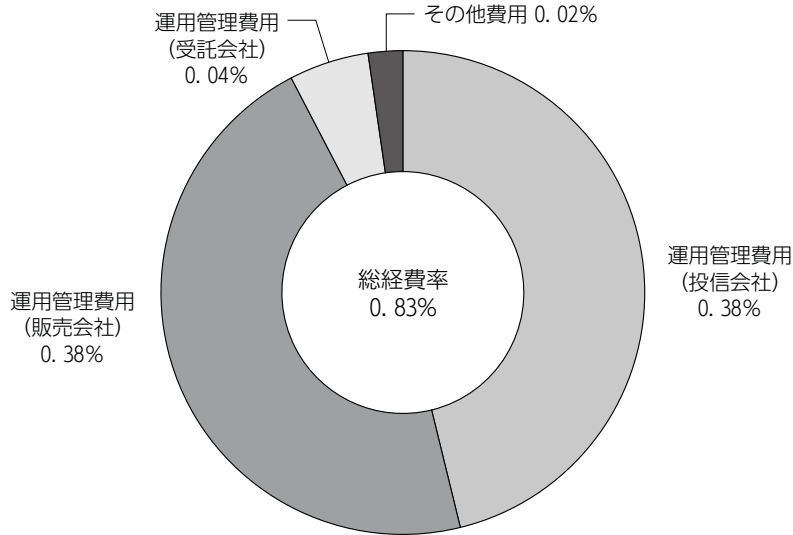
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.83%です。



- (注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- (注3) 各比率は、年率換算した値です。

## 米国国債ファンド 為替ヘッジなし (年1回決算型)

### ■売買および取引の状況

#### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年3月27日から2020年3月26日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
米国国債 マザーファンド	692,961	923,000	940,024	1,284,600

(注) 単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

### ■組入資産明細表

#### 親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	評 価 額	□ 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
米国国債マザーファンド	1,768,054	1,520,991	2,235,552	2,235,552

(注) 単位未満は切捨て。

### ■投資信託財産の構成

2020年3月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
米国国債マザーファンド	2,235,552	93.9
コール・ローン等、その他	144,047	6.1
投資信託財産総額	2,379,599	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=110.77円です。

(注3) 米国国債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(15,007,395千円)の投資信託財産総額(15,267,100千円)に対する比率は、98.3%です。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年3月26日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,379,599,949円
コール・ローン等	46,747,220
米国国債マザーファンド(評価額)	2,235,552,729
未収入金	97,300,000
(B) 負債	112,335,165
未払解約金	102,457,226
未払信託報酬	9,778,883
その他未払費用	99,056
(C) 純資産総額(A-B)	2,267,264,784
元本	1,627,659,111
次期繰越損益金	639,605,673
(D) 受益権総口数	1,627,659,111口
1万口当り基準価額(C/D)	13,930円

\* 期首における元本額は1,868,821,593円、当作成期間中における追加設定元本額は1,011,974,187円、同解約元本額は1,253,136,669円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,930円です。

### ■損益の状況

当期 自2019年3月27日 至2020年3月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 7,864円
受取利息	4,363
支払利息	△ 12,227
(B) 有価証券売買損益	253,955,570
売買益	318,175,206
売買損	△ 64,219,636
(C) 信託報酬等	△ 19,331,135
(D) 当期損益金(A+B+C)	234,616,571
(E) 前期繰越損益金	35,968,548
(F) 追加信託差損益金	369,020,554
(配当等相当額)	( 204,256,531)
(売買損益相当額)	( 164,764,023)
(G) 合計(D+E+F)	639,605,673
次期繰越損益金(G)	639,605,673
追加信託差損益金	369,020,554
(配当等相当額)	( 204,256,531)
(売買損益相当額)	( 164,764,023)
分配準備積立金	270,592,983
繰越損益金	△ 7,864

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	234,620,993
(c) 収益調整金	369,020,554
(d) 分配準備積立金	35,971,990
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	639,613,537
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	639,613,537
(h) 受益権総口数	1,627,659,111□

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

## フレックスヘッジ (年1回決算型)

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額			FTSE米国債インデックス (円換算)		公社債 組比率	債券先 物比率	純資産 総額
	(分配落) 円	税込み 分配金 円	期中騰 落率 %	(参考指数)	期中騰 落率 %			
3期末(2016年3月28日)	12,662	0	4.7	12,556	△ 3.3	92.7	—	86 百万円
4期末(2017年3月27日)	11,870	0	△ 6.3	12,124	△ 3.4	98.3	—	268
5期末(2018年3月26日)	11,155	0	△ 6.0	11,522	△ 5.0	97.7	—	235
6期末(2019年3月26日)	12,145	0	8.9	12,648	9.8	97.4	—	200
7期末(2020年3月26日)	13,214	0	8.8	14,261	12.7	97.2	—	191

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) FTSE米国債インデックス(円換算)は、FTSE米国債インデックス(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE米国債インデックス(米ドルベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債および債券先物の組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

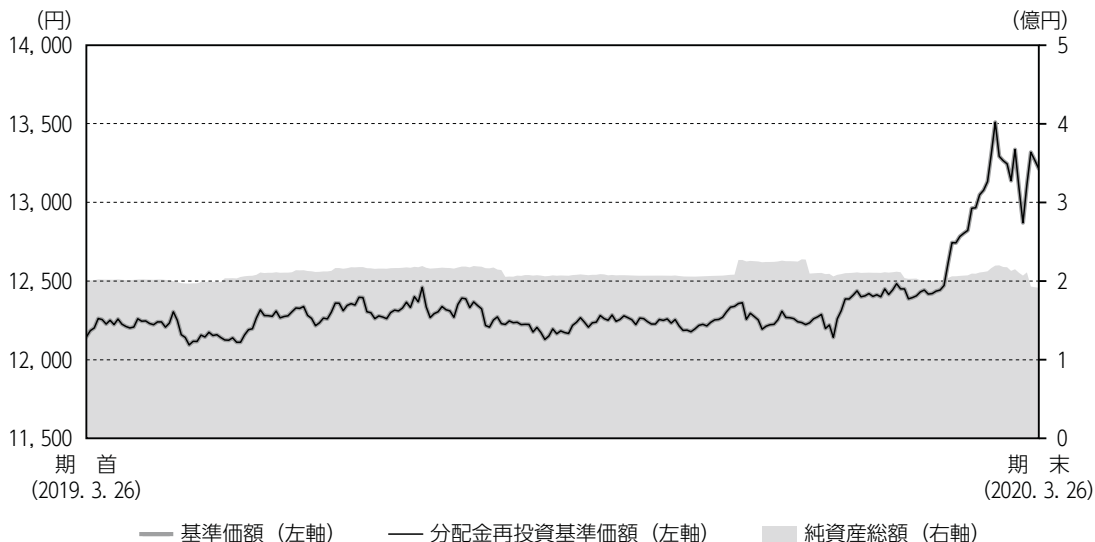
(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。

(注7) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

#### 基準価額・騰落率

期首：12,145円

期末：13,214円（分配金0円）

騰落率：8.8%（分配金込み）

#### 基準価額の主な変動要因

米国国債に投資した結果、債券の利息収入や金利が低下（債券価格は上昇）したことを主な要因として基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

米国国債ファンド フレックスヘッジ (年1回決算型)

年 月 日	基 準 価 額		F T S E 米 国 債 イ ン デ ッ ク ス (円換算)		公 社 組 比	債 入 率	債 券 先 物 率
	円	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率			
(期首) 2019年3月26日	12,145	—	12,648	—	97.4	—	
3月末	12,262	1.0	12,769	1.0	97.1	—	
4月末	12,251	0.9	12,790	1.1	96.7	—	
5月末	12,197	0.4	12,756	0.9	97.9	—	
6月末	12,302	1.3	12,751	0.8	97.4	—	
7月末	12,368	1.8	12,822	1.4	97.5	—	
8月末	12,229	0.7	13,000	2.8	99.8	—	
9月末	12,238	0.8	13,073	3.4	97.5	—	
10月末	12,256	0.9	13,113	3.7	98.7	—	
11月末	12,357	1.7	13,247	4.7	98.0	—	
12月末	12,288	1.2	13,197	4.3	97.1	—	
2020年1月末	12,483	2.8	13,404	6.0	97.6	—	
2月末	12,822	5.6	13,691	8.2	94.8	—	
(期末) 2020年3月26日	13,214	8.8	14,261	12.7	97.2	—	

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。



## 投資環境について

(2019. 3. 27 ~ 2020. 3. 26)

### ■米国債券市況

米国金利は低下しました。

当作成期前半の米国債券金利は、米中貿易交渉の不透明感の高まりによる世界的な景気減速懸念などからF R B（米国連邦準備制度理事会）が複数回利下げを実施したことで、低下基調となりました。その後は、政策金利を当面据え置く方針を示したことで横ばいでの推移となりましたが、2020年に入り、新型コロナウイルスによる世界経済の減速懸念が高まると市場の利下げ観測が強まり、米国金利は大幅に低下しました。

### ■為替相場

米ドルは対円で当作成期首と同程度の水準となりました。

当作成期首前半の米ドル円為替相場は、米中貿易交渉の不透明感などを受けて市場のリスク回避姿勢が高まったことなどから、円高米ドル安が進行しました。その後は方向感に乏しい推移となったものの、2020年に入り、新型コロナウイルスによる景気減速が懸念される中で市場のリスク回避姿勢が高まり、急速に円高が進行しました。その後は、米ドルに対する強い需要の影響から米ドル高に転じました。

## 前作成期末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

「米国国債マザーファンド」を高位に組み入れます。また、当社が独自に開発した指数に基づいて、金融市場の緊迫度が高まると判断される場合に為替ヘッジ（フレックスヘッジ）を行います。

### ■米国国債マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。

## ポートフォリオについて

(2019. 3. 27 ~ 2020. 3. 26)

### 当ファンド

「米国国債マザーファンド」を高位に組み入れました。また、当社が独自に開発した指数に基づいて、金融市場の緊迫度が高まると判断される場合に為替ヘッジ（フレックスヘッジ）を行いました。

### 米国国債マザーファンド

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行いました。

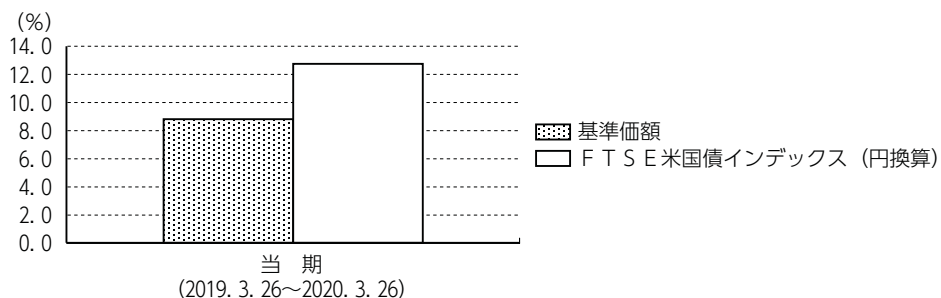
米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れました。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持しました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

当作成期は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったため、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項 目	当期	
	2019年3月27日 ～2020年3月26日	
当期分配金（税込み）	(円)	—
対基準価額比率	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	3,214

(注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

(注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

(注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

「米回国債マザーファンド」を高位に組み入れます。また、当社が独自に開発した指数に基づいて、金融市場の緊迫度が高まると判断される場合に為替ヘッジ（フレックスヘッジ）を行います。

### ■米回国債マザーファンド

米回国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米回国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れます。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態でも高位に維持します。

## 1 万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2019. 3. 27~2020. 3. 26)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	110円	0.893%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12,352円です。
(投 信 会 社)	(58)	(0.469)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(47)	(0.381)	販売会社分は、運用報告書等各种書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(5)	(0.044)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	3	0.024	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.008)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0.005)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	113	0.918	

(注1) 当作成期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

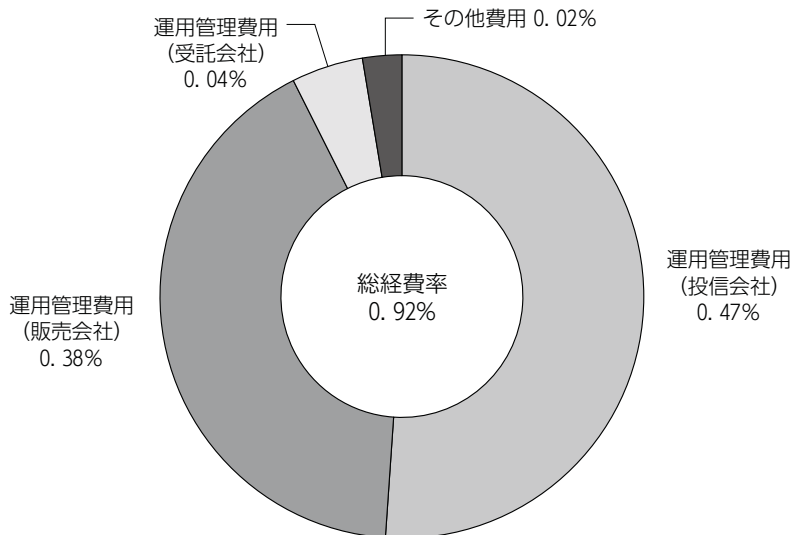
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.92%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

## 米国国債ファンド フレックスヘッジ (年1回決算型)

### ■売買および取引の状況

#### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2019年3月27日から2020年3月26日まで)

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
米国国債 マザーファンド	35,321	46,900	60,463	82,800

(注) 単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

### ■組入資産明細表

#### 親投資信託残高

種 類	期 首		当 期 末	
	□ 数	金 額	□ 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
米国国債マザーファンド	154,226	129,084	189,727	189,727

(注) 単位未満は切捨て。

### ■投資信託財産の構成

2020年3月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
米国国債マザーファンド	189,727	98.2
コール・ローン等、その他	3,507	1.8
投資信託財産総額	193,235	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の中値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=110.77円です。

(注3) 米国国債マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(15,007,395千円)の投資信託財産総額(15,267,100千円)に対する比率は、98.3%です。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年3月26日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	379,733,511円
コール・ローン等	3,220,105
米国国債マザーファンド(評価額)	189,727,713
未収入金	186,785,693
(B) 負債	188,206,262
未払金	187,231,521
未払解約金	22,749
未払信託報酬	943,461
その他未払費用	8,531
(C) 純資産総額(A-B)	191,527,249
元本	144,940,848
次期繰越損益金	46,586,401
(D) 受益権総口数	144,940,848口
1万口当り基準価額(C/D)	13,214円

\* 期首における元本額は164,848,256円、当作成期間中における追加設定元本額は41,833,324円、同解約元本額は61,740,732円です。

\* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,214円です。

### ■損益の状況

当期 自2019年3月27日 至2020年3月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 463円
受取利息	129
支払利息	△ 592
(B) 有価証券売買損益	16,483,804
売買益	29,612,390
売買損	△ 13,128,586
(C) 信託報酬等	△ 1,900,832
(D) 当期損益金(A+B+C)	14,582,509
(E) 前期繰越損益金	1,074,232
(F) 追加信託差損益金	30,929,660
(配当等相当額)	( 25,402,867)
(売買損益相当額)	( 5,526,793)
(G) 合計(D+E+F)	46,586,401
次期繰越損益金(G)	46,586,401
追加信託差損益金	30,929,660
(配当等相当額)	( 25,402,867)
(売買損益相当額)	( 5,526,793)
分配準備積立金	15,657,204
繰越損益金	△ 463

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程(総額)」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程 (総額)

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	14,582,430
(c) 収益調整金	30,929,660
(d) 分配準備積立金	1,074,774
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	46,586,864
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	46,586,864
(h) 受益権総口数	144,940,848口

《お知らせ》

■商号変更について

大和証券投資信託委託株式会社は、2020年4月1日付で、商号を「大和アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。

# 米国国債マザーファンド

## 運用報告書 第7期 (決算日 2020年3月26日)

(作成対象期間 2019年3月27日～2020年3月26日)

米国国債マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国国債
株式組入制限	純資産総額の10%以下

## 大和アセットマネジメント

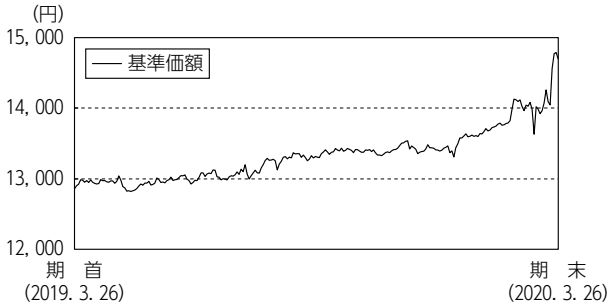
Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>



■当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		FTSE米国債インデックス(円換算)		公社債比率	債券先物比率
	円	%	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2019年3月26日	12,859	—	12,648	—	98.3	—
3月末	12,985	1.0	12,769	1.0	98.1	—
4月末	12,982	1.0	12,790	1.1	97.5	—
5月末	12,989	1.0	12,756	0.9	98.2	—
6月末	13,019	1.2	12,751	0.8	97.4	—
7月末	13,101	1.9	12,822	1.4	97.4	—
8月末	13,314	3.5	13,000	2.8	98.6	—
9月末	13,378	4.0	13,073	3.4	98.0	—
10月末	13,408	4.3	13,113	3.7	99.2	—
11月末	13,531	5.2	13,247	4.7	98.4	—
12月末	13,465	4.7	13,197	4.3	97.5	—
2020年1月末	13,711	6.6	13,404	6.0	97.7	—
2月末	14,025	9.1	13,691	8.2	97.1	—
(期末) 2020年3月26日	14,698	14.3	14,261	12.7	98.1	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) FTSE米国債インデックス(円換算)は、FTSE米国債インデックス(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。FTSE米国債インデックス(米ドルベース)は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。
- (注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)を除きます。
- (注6) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

《運用経過》

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：12,859円 期末：14,698円 騰落率：14.3%

【基準価額の主な変動要因】

米国国債に投資した結果、債券の利息収入や金利が低下(債券価格は上昇)したことを主な要因として基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○米国債券市況

米国金利は低下しました。

当作成期前半の米国債券金利は、米中貿易交渉の不透明感の高まりによる世界的な景気減速懸念などからFRB(米国連邦準備制度理事会)が複数回利下げを実施したことで、低下基調となりました。その後は、政策金利を当面据え置く方針を示したことで横ばいでの推移となりましたが、2020年に入り、新型コロナウイルスによる世界経済の減速懸念が高まると市場の利下げ観測が強まり、米国金利は大幅に低下しました。

○為替相場

米ドルは対円で当作成期首と同程度の水準となりました。

当作成期首前半の米ドル円為替相場は、米中貿易交渉の不透明感などを受けて市場のリスク回避姿勢が高まったことなどから、円高米ドル安が進行しました。その後は方向感に乏しい推移となったものの、2020年に入り、新型コロナウイルスによる景気減速が懸念される中で市場のリスク回避姿勢が高まり、急速に円高が進行しました。その後は、米ドルに対する強い需要の影響から米ドル高に転じました。

◆前作成期末における「今後の運用方針」

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れることをめざします。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態では高位に維持します。

◆ポートフォリオについて

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行いました。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れるました。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態では高位に維持しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

米国国債に投資し、残存期間の異なる債券の利息収入を幅広く確保することをめざして運用を行います。

米国国債への投資にあたっては、残存期間が最長15年程度までの国債を、残存期間ごとの国債の投資金額がほぼ同程度となるように組み入れることをめざします。

外貨建資産の組入比率は、通常の状態では高位に維持します。

## 米国国債マザーファンド

### ■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	1 (1)
(その他)	(0)
合 計	1

(注1) 費用の項目および算出方法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

### ■売買および取引の状況

#### 公 社 債

(2019年3月27日から2020年3月26日まで)

外国	アメリカ	国債証券	買付額	売付額
			千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル
			46,793	46,360
				( 8,069)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

### ■主要な売買銘柄

#### 公 社 債

(2019年3月27日から2020年3月26日まで)

当 期		期 付	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
United States Treasury Strip Coupon (アメリカ) 2035/2/15	1,018,307	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 6.25% 2030/5/15	1,063,468
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 6.25% 2030/5/15	1,001,437	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 6.125% 2029/8/15	544,238
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.625% 2029/8/15	343,292	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 6.125% 2027/11/15	325,378
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.625% 2022/8/15	326,688	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2% 2025/8/15	252,954
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.75% 2023/5/15	306,857	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.75% 2022/5/15	250,323
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 1.625% 2026/2/15	301,809	United States Treasury Strip Coupon (アメリカ) 2033/2/15	238,124
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.75% 2028/2/15	290,152	United States Treasury Strip Coupon (アメリカ) 2032/2/15	218,264
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 2.375% 2029/5/15	202,080	United States Treasury Strip Coupon (アメリカ) 2034/2/15	217,545
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 3.625% 2021/2/15	100,493	United States Treasury Strip Coupon (アメリカ) 2035/2/15	133,713
United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 5.375% 2031/2/15	97,850	United States Treasury Note/Bond (アメリカ) 5.375% 2031/2/15	130,486

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

### ■組入資産明細表

#### (1)外国（外貨建）公社債（通貨別）

区 分	額 面 金 額	当 期		組入比率	うちBB格 以下組入 比 率	残存期間別組入比率		
		評 価 額				5年以上	2年以上	2年未満
		外貨建金額	邦貨換算金額					
	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	128,083	132,937	14,725,453	98.1	—	65.7	19.4	13.0

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (2)外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額		
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
			%	千アメリカ・ドル	千アメリカ・ドル	千円	
アメリカ	United States Treasury Note/Bond	国債証券	3.5000	2,284	2,294	254,192	2020/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.6250	3,769	3,807	421,712	2020/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	3.6250	2,675	2,756	305,370	2021/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	3.1250	1,546	1,596	176,862	2021/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.1250	4,169	4,272	473,215	2021/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	2,783	2,870	317,965	2022/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.7500	1,894	1,951	216,180	2022/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.6250	4,050	4,169	461,884	2022/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	2,590	2,708	300,028	2023/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.7500	3,855	4,014	444,662	2023/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.5000	1,075	1,149	127,310	2023/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.7500	3,257	3,542	392,356	2024/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.5000	1,164	1,259	139,462	2024/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	7.6250	254	340	37,714	2025/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	6.8750	1,162	1,545	171,230	2025/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	6.0000	439	575	63,717	2026/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	6.7500	491	677	75,038	2026/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	5.5000	600	829	91,862	2028/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	5.2500	2,114	2,899	321,193	2028/11/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	6.1250	2,795	4,128	457,266	2029/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	5.3750	6,091	8,933	989,616	2031/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.3750	2,694	2,909	322,332	2024/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	3,955	4,229	468,521	2025/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.1250	1,891	2,038	225,781	2025/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.0000	740	794	87,976	2025/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.6250	3,720	3,922	434,501	2026/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.6250	1,166	1,231	136,362	2026/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.5000	4,120	4,319	478,511	2026/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.2500	2,420	2,668	295,622	2027/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.3750	2,340	2,609	289,090	2027/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.2500	3,490	3,869	428,655	2027/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.7500	2,230	2,565	284,222	2028/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.8750	2,050	2,382	263,942	2028/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.8750	1,950	2,273	251,792	2028/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.6250	450	518	57,448	2029/02/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	2.3750	1,350	1,530	169,562	2029/05/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.6250	2,600	2,780	308,046	2029/08/15
	United States Treasury Note/Bond	国債証券	1.5000	300	318	35,266	2030/02/15
	United States Treasury Strip Coupon	国債証券	—	9,940	8,715	965,437	2032/02/15
	United States Treasury Strip Coupon	国債証券	—	10,270	8,877	983,348	2033/02/15
	United States Treasury Strip Coupon	国債証券	—	10,550	8,986	995,398	2034/02/15
	United States Treasury Strip Coupon	国債証券	—	10,800	9,070	1,004,785	2035/02/15
合 計	銘柄数 金 額	42銘柄		128,083	132,937	14,725,453	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

## 米国国債マザーファンド

### ■投資信託財産の構成

2020年3月26日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	14,725,453	96.5
コール・ローン等、その他	541,647	3.5
投資信託財産総額	15,267,100	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月26日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝110.77円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(15,007,395千円)の投資信託財産総額(15,267,100千円)に対する比率は、98.3%です。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

2020年3月26日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>15,398,885,104円</b>
コール・ローン等	282,554,844
公社債(評価額)	14,725,453,262
未収入金	343,952,150
未収利息	46,423,910
前払費用	500,938
<b>(B) 負債</b>	<b>393,004,400</b>
未払金	131,784,400
未払解約金	261,220,000
<b>(C) 純資産総額(A-B)</b>	<b>15,005,880,704</b>
元本	10,209,458,378
次期繰越損益金	4,796,422,326
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>10,209,458,378口</b>
<b>1万口当り基準価額(C/D)</b>	<b>14,698円</b>

\*期首における元本額は10,969,616,964円、当作成期間中における追加設定元本額は2,418,817,017円、同解約元本額は3,178,975,603円です。

\*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、米国国債ファンド 為替ヘッジあり(年1回決算型)3,189,109,252円、米国国債ファンド 為替ヘッジなし(年1回決算型)1,520,991,107円、米国国債ファンド フレックスヘッジ(年1回決算型)129,084,034円、米国国債ファンド 為替ヘッジなし(毎月決算型)5,140,606,857円、為替ヘッジ付米国国債プラス日本株式会社ファンド105,061,219円、米国国債ファンド 為替ヘッジあり(毎月決算型)124,605,909円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は14,698円です。

### ■損益の状況

当期 自2019年3月27日 至2020年3月26日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>438,017,350円</b>
受取利息	438,080,665
支払利息	△ 63,315
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>1,579,517,116</b>
売買益	1,628,515,326
売買損	△ 48,998,210
<b>(C) その他費用</b>	<b>△ 1,653,010</b>
<b>(D) 当期損益金(A+B+C)</b>	<b>2,015,881,456</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>3,136,720,284</b>
<b>(F) 解約差損益金</b>	<b>△ 1,141,415,397</b>
<b>(G) 追加信託差損益金</b>	<b>785,235,983</b>
<b>(H) 合計(D+E+F+G)</b>	<b>4,796,422,326</b>
<b>次期繰越損益金(H)</b>	<b>4,796,422,326</b>

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。